

トピックス

# まほら

まほらとは ~丘や山に囲まれたすぐれたよい所~  
古事記「中巻」より

第5号

平成18年 8月発行

自然に学び、地域に生かす

出雲土建株式会社

建設事業部 緑化事業課

TEL 0853-22-0388

FAX 0853-22-0377

Email: izd-ryokuka@i-doken.co.jp

## 出雲大社 摂社 命主社のムクノキの樹勢回復！



改良前(1年前)

出雲大社の東にある、命主社(いのちぬしのやしる)の御神木「ムクノキ」の樹勢回復を行いました。命主社は子供の成長を見守る社として、地元の人には「いのっつあん」の愛称で親しまれ、子供が生まれて100日目になると親子揃って参拝されるそうです。社殿の左手にあるムクノキの主幹は、2mも根上りし、根が岩を抱込んで立ち上がっています。



改良後(平成18年8月)

樹種 / ムクノキ 科名 / ニレ科  
樹高 / 17m 根元廻り / 12m 根上り / 2m  
推定樹齢 / 約1000年 旧大社町指定天然記念物



近年、御神木のムクノキが枝の先端が枯れるなど、衰弱が著しく、小川眞先生(大阪工業大学客員教授)、樹木医の柿田義文先生の協力平成18年1月に炭八改良を行いました。その後、樹勢は順調に回復し、上部の枯枝も少なくなり、下方の枝が特に伸び改良前と比較しても繁茂したことが良く分かります。



## 出雲大社参道の樹勢回復状況！



改良前(H17.3月)

まほら第3号で紹介した参道の樹勢回復についてその後の状況をご報告します。改良前に比べ、明らかに下枝から回復に向かっており、枝葉が茂ってうっそうとしています。



現在(H18.8月)



平成18年5月  
新芽の状態



コツブタケの発生



「菌根菌(キノコ)により  
樹勢が回復」

クロマツは菌根菌(コツブタケ、ショウロ、ヌメリイグチ等)と共生関係にあり、相互に栄養を交換しながら生育するため、樹勢回復に役立ちます。17年12月に菌を散布したところ今年7月、参道既存の松や新しく植えた松の根元にキノコ(コツブタケ)が発生しました。



H17年12月炭八にコツブタケの菌を散布

## 保寿寺(斐川町)のクロマツに炭八改良！



改良前(H18.5月)



1ヶ月後(H18.6月)

斐川町にある、保寿寺様のクロマツに樹勢回復を行いました。このクロマツは、平成14年(2002)1月8日に斐川町の天然記念物に指定された松です。クロマツは、本堂前庭にあり、高さ約7m、幹周約1.7mもある古松で、傘状の枝を広げています。樹齢は約350年と推定されています。寺名の保寿にちなんで延寿松とも呼ばれて親しまれています。

近年、枝や幹など全体に苔類が付き、樹勢が弱り赤斑葉枯病も多く発生していました。ご住職から樹勢回復の依頼があったのは、マツの根が盛んに動いている5月だったので、大掛かりな治療はせず、段階的に行うこととし、まずは部分的に炭八改良を行いました。



部分的な炭八改良

## ウェルシティ島根のクロマツに炭八改良！



改良前(H18.2月)

出雲市塩冶町にあるウエルシティ島根様のクロマツに樹勢回復を行いました。樹全体に病気(マツ葉ふるい病)が発生しており、炭八を埋めることで悪い病気の菌が住みにくい環境となり樹勢を回復させます。



H18.2月に根元の周囲を掘り、炭八を埋めました。

# 個人宅でも炭八改良で樹勢回復！

出雲市S様宅



上部に病気の発生



今のところ病気が止まりました

出雲市T様宅



全体に病気が発生し衰弱



病気は止まり順調に回復

松江市K様宅



枯れ枝も多くひん死の状態



芽の数も増え順調に回復

## 新庭園のご紹介！

神光寺様(大社町) 庫裏庭園  
平成18年6月完成

神光寺様は、曹洞宗、不老山 総持寺末 釈迦如来がご本尊で、出雲大社一の鳥居前東方に位置します。このお寺は古く貞治年中(1362~67)の創建と伝えられていますが、以前は修理免の弥山の山奥に堂舎が有り、慶安元年(1648)現在の位置に至ったそうです。

今年、庫裏の整備に伴い南側に庭園を新たに築庭されました。この庭園は、12個の石を配し、護岸に、め石を配して日御碕と日本海の荒々しさを表現した観賞式縮景庭園です。

